

## 令和4年度予算賛成討論

冒頭にあたり、ロシアの侵略によって犠牲になられたみなさまに心からお悔やみを申し上げるとともに、被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げます。そして今なお苦境の中で戦われているウクライナのみなさまの心に寄り添いたと思います。

あらためて公明党としても、ロシアの侵略を強く非難するとともに、核による威嚇は、人類に対する脅迫であり、断じて許されるものではないと断固抗議いたします。

それでは上程されました第7号議案、令和4年度中野区一般会計予算について公明党議員団として賛成の立場から討論を行います。

令和4年度の一般会計予算は1,579億3,500万円余で、前年度と比べ106億9,400万円、7.3%の増となりました。新型コロナウイルス感染症対策経費、中野駅周辺まちづくり、児童相談所の運営経費、区役所新庁舎整備に係る経費等の増加要因はあるものの、5月に控える区長選挙を意識してか予算規模は膨張し、過去最大規模となっています。

景気の先行きは不透明、緊張感を持った区制運営が求められていると認識しながらも、実質的な事業の見直しを行う事ができず、新規事業が積み増されていくことで、後年度の負担が増大していく様相は憂慮すべき事態です。

区は、財政的な非常事態との認識を未だ改めることなく、持続可能な区財政運営のために必要不可欠であるとする区政の構造改革ですが、令和4年度の財政効果の多くは未利用施設の活用などの歳入確保であり、構造改革の本丸と言えるビルド・アンド・スクラップの効果がわずかに6,800万円余です。区をあげてビルド・アンド・スクラップに取り組んできたとは到底思えず、その後の見込みも不明確です。

さらには、区政の構造改革は、財政体力を高めることばかりが目立って、その表現には、如何なものかと思えます。

構造改革には、削減しなければならない予算規模や目標値が示されておらず、財政面での検証も見直しもできません。削減について適切な財政効果が明らかにできない以上、現在区が進める構造改革が本当に持続可能な区財政運営に資するものなのか、大変に疑問を感じます。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大が区民生活を脅かし、未だ収束も見えない中で、我が会派は区民の生命と健康、生活を守ることに注力し、区民の多くの声に耳を傾け、区に対しても要望を行ってきました。

歳出予算には、PCR検査やワクチン接種体制の確保、自宅療養者への支援など新型コロナウイルス感染拡大から区民の生命と健康そして生活を守る施策、また中野駅周辺まちづくり、西武新宿線連続立体交差事業の着実な推進、LED 街路灯の計画的な更新、乗り合いタクシー等による新交通システム導入、災害対策用物資の充実、中野区公園再整備計画策定と推進、重層的支援体制整備事業推進、ICT推進による教育環境の整備、不登校児童・生徒への教育相談・フリーステップの充実、一時保育事業の拡充、子ども食堂支援など子どもの貧困対策の推進、子どもの権利条例制定、妊娠・出産・子育てトータルケア事業の充実、食品ロス削減推進計画策定、胃がん内視鏡検診対象年齢拡大など、区と区民の未来を拓く事業、待ったなしの課題に直面する区民や区内事業者を支えるための事業等、我が会派の要望が随所に反映されており、これらは来年度着実に実施すべきと考えます。

また、新型コロナウイルス感染症から区民を守るために日々戦っている医療従事者、エッセンシャルワーカーの皆様をはじめ、関わる多くの方々に応えるためにも、区政の停滞を招くわけには参りません。

令和4年度予算編成方針には、「重点事項以外の新規・拡充事業は、真に必要であり優先度の高いものとし、関連する既存事業の統合再編、見直し等事業のスクラップにより経費を生み出すこと。ビルド・アンド・スクラップができていない事業計画は原則として認めない。」と示されています。予算審議の中で明らかになったのは、この方針から重点事項の新規・拡充事業はビルド・アンド・スクラップの対象にならず、予算編成当初から重点事項に対し約50億円のフレームが設定されていたということです。真に必要な事業を積み上げた結果ではなく、先に予算枠ありきで事業が組み込まれていく編成手法は、過去に例がないと思われまます。

また、個別の事業についても、議会の意思、区民への説明が反映されていないものが多く見受けられました。特に第4回定例会での児童館廃止条例の否決を無視するような予算が散見されることは大変残念です。再検討、再編成の暇がなかったからか、そうでないかはわかりませんが、予算案のままの事業執行は慎まれるべきです。また商工会館跡地活用に関してもすでに公募型プロポーザルによる公募がはじまっていますが、周辺住民への説明が不足しており、「必要に応じて区民と対話等を行い、見直しを図っていかなければならない。」との予算編成方針とはかけ離れる姿勢です。その他、多くの事業について課題があり、分科会での指摘をよく踏まえていただくことを求めます。

令和4年度予算は賛成いたしますが、議会より付された

「新型コロナウイルス感染拡大状況と緊迫する世界情勢の変化を注視し、新規・拡充事業については執行方法や時期について、議会への理解を図りながら実施をすること。」

「児童館関係の予算については、再検討した今後の児童館等施設とサービスのあり方を議会へ報告の上、その議論を踏まえて執行すること。」

「商工会館跡地活用については、近隣住民への十分な情報提供と意見聴取を終えるまでの間は、事業の進行を止めること。」

との3つの意見を厳しく受け止めて来年度の予算執行にあたられることを強く求め、賛成討論といたします。